

平成31年度事業計画

1. 基本方針

我が国の景気は、穏やかな回復基調が続いており、雇用・所得環境改善が続く一方で、超高齢社会は、毎年どんどん進展しています。

国立社会保障・人口問題研究所によりますと、2045年の道内人口は25%減400万人、65歳以上は42%に、富良野市においては39%の減14,082人になると推計されています。

こうした中、高齢者には社会を支える役割が以前にも増して求められており、シルバー人材センターも高齢者の就業機会の提供、生きがいや健康増進を通して地域社会における役割を果たしていく必要があります。

そのためにシルバー人材センターは、環境の変化に対応できる能力を高め、法令の遵守と会員の安全就業を徹底しながら、地域に必要な団体として、これからもお客様の信頼に応へ、満足度を高めていかなければなりません。

当センターとしては、今年度から中期計画（平成31年度～35年度）を策定し、「会員の拡大」「受注拡大と就業開拓」「就業率と技能向上」「安全就業の徹底」「適正就業の推進」「組織・事業の効率化」「財政基盤の強化」等について、計画内容に基づき推進してまいります。

特に、会員入会の促進は、センター活動を行う上で最も根本的な課題であり、健康で働く意欲のある新会員の入会を図ることが喫緊の課題であります。今年度も昨年に引き続き、会員及び、役職員が一丸とり、工夫をこらしながら「会員の拡大」に取り組んでまいります。

また、就業に当たっては、何よりも安全が第一です。常に「安全・適正就業心得10カ条」を遵守していただくこと、また、健康管理についても十分留意され、安全で安心して働ける環境づくりに取り組んでまいります。

さらに、シルバー人材センターの基本理念である「自主・自立」「共働・共助」のもと、より一層「親切・丁寧・誠実・確実」な就業を提供することによって、信頼されるセンターづくりを目指す事業を推進してまいります。

2. 事業実施計画

(1) 会員の拡大

高齢者が臨時的かつ短期的な就業を通して、地域社会の中で生きがいを持って健康で豊かな生活を送ることが、シルバー事業の理念です。

また、新規会員の加入促進を図ることは、安定的な受注確保をするうえで不可欠な課題であり、このため、会員、役職員が一丸となって、健康で働く意欲のある会員の入会を促進してまいります。

- ① 本年度から、年2回程度「入会説明会」を開催し、シルバー事業に対する理解と協力を得て、会員拡大に努めてまいります。

- ② 会員と役職員が協力し合い、口コミ等による「会員ひとりが一人の加入促進」運動を引き続き実施し、さらに、昨年を引き続き、「一会員一名紹介運動」では、紹介してくれた会員には謝礼制度（商品券）を取り入れ、新会員確保に努めてまいります。
- ③ 10月の全国シルバー月間には、イベント会場や、大型店舗などでの街頭宣伝（リーフレット配布）、また、年3回ほど市内全戸へ（新聞折り込みチラシ）会員の募集、業務内容などPRを実施いたします。
- ④ 市広報、マスコミ、ホームページを活用した会員の募集、業務内容などのPRを実施いたします。
- ⑤ サービス業の増加に伴い（家事支援サービス事業や、ホテル等の清掃、調理補助、食器洗など）、女性会員が不足しておることから増員に努めてまいります。

（2）受注拡大と就業開拓

市内の主要公園、観光道路等の清掃美化作業を全会員のボランティアで行い、また、会員手づくりによる「手縫い雑巾」を福祉施設に寄贈するなど、シルバー人材センターが公益性の高い社会貢献団体であることを、市広報、マスコミ、ホームページを活用し、受注拡大と就業開拓に努めてまいります。

- ① 社会情勢の変化に伴い、顧客ニーズに適合した会員就業に努め、信頼・安全・安心を確保し、顧客の満足度高めながら受注拡大を図ります。
- ② 高齢者世帯の増加に伴い、今年度から、一般家庭・福祉家庭の家事援助就業にも取り組んでまいります。
- ③ 役職員による「基盤拡大での就業機会拡大訪問班」を編成し年2回顧客訪問を行い、特に面談の時間が容易にとれるよう在宅の多い12月、2月に巡回訪問を行い併せて会員の「就業状況等のアンケート」を実施し、より効果の高い就業拡大に繋げていきます。
- ④ 会員それぞれが「自ら開拓・自ら就労」に心がけ就労機会の拡大に繋げていきます。
- ⑤ 新たな事業拡大にむけ、関係機関や関係事業所と協議検討してまいります。

（3）就業率と技能向上

年々低下している就業率を改善するため、会員の希望職種及び希望時間を聴きながら、働きやすい環境づくりに努めます。また、全会員の就業機会を対象とした技能・技術の向上を目指す講習会を開催してまいります。

- ① 作業に必要な技能の修得に加えて、発注者に喜ばれる「細やかな気配りで丁寧な仕事」を常に行えるように習得を促します。
- ② 就業に当たっては、作業安全と効率化が恒常的になるよう新会員には、基本事項の講習会を開催します。
- ③ センター主催の講習は、随時次の事項を行います。
（草刈作業・剪定作業・冬囲い作業・接遇マナー・清掃作業・交通安全講習会等）

（4）安全就業の徹底

安全就業は、シルバー事業の最優先事項です。本年度も「安全適正就業委員会」の活動を積極的に助長し、昨年、一昨年のような重大事故は絶対に起こさないように心掛け、事故ゼロを目指します。

- ① 1月に全会員による「安全大会」を開催し、交通安全も含めた意識向上を図り会員同志の交流を深めるために新年交流会を開催します。
- ② 就業出発時に「交通安全・作業に気をつけて」の声かけ運動を徹底します。
- ③ 健康管理対策として朝、就業前集会の際「ラジオ体操」を行います。
- ④ 健康管理対策（認知症予防等）の講習会を開催します。
- ⑤ 会員の健康診断（特定健診）の実施を勧めます。

(5) 適正就業の推進

シルバー人材センター事業の理念である「自主・自立・共働・共助」のもとに、法律に定められた「臨時的かつ短期的な就業及びその他の軽易な業務」を適正に遂行していくことが基本とされます。

- ① 高齢者の就業形態（請負、委託事業、派遣事業、職業紹介）については、全会員及び発注者にも適正就業ガイドラインに沿った周知をおこない、安全就業の確保、また、公益法人としてのコンプライアンス（法令遵守）を重視し、良好な就業環境整えることに努めます。

(6) 独自事業の拡充

市民との交流の場であることをPRするため、市民が参加できる「第11回生き生きフェア」を10月第3日曜日に開催、会員が生産した野菜等の販売や、経験を活かした刃物研ぎ・手芸品の展示販売・バザー・ゲーム等で市民とのふれあいを高めるため今年も開催します。

- ① 第1会場・第2会場共に好評であり、今年も子どもから高齢者までが参加できる、楽しみなゲームを企画してまいります。
- ② 独自事業で生産した漬物用野菜を低価格で販売致します。
- ③ これまでの「生き生きフェア」を踏まえ、より親しまれる「生き生きフェア」を目指し、実行委員会等で検討してまいります。
- ④ 生き生き広場を活用して、会員を対象に、車の夏・冬タイヤの交換を低価格で実施いたします。
- ⑤ 道内センターの独自事業の取り組み状況を調査し、新たな独自事業として可能か否か、検討してまいります。

(7) ボランティア活動と会員の親睦・交流の推進

心身ともに健康な高齢者で構成される公益性の高い団体として、地域社会で自ら奉仕活動等で貢献するシルバー人材センターは、地域に広く親しまれ活力あるセンターを目指します。

- ① 全員がボランティア活動に参加することとし、会員の自主的組織「富良野シルバー親睦会」と親密に連携し会員の親睦・交流を図りながら活動します。
- ② 春には主要公園、観光道路、公共施設等の清掃作業を、また、市内観光のメインであるワイン工場へ向かう市道歩道(ワインロード)の除草、清掃を計画的に行います。
- ③ 秋には会員から集めたタオルを雑巾に作成して、福祉施設に計画的に寄贈します。

(7) 組織体制と財政基盤の強化

- ① 事務局が入居している事務所は、狭隘のため旧青少年勤労ホームに移転し、入会説明会や就労相談等の場所として活用してまいります。
- ② 事務所内における情報共有化を図り、各研修会の等の参加によって、職員の事務処理能力に努め、業務の円滑な運営と効率化を推進してまいります。
- ③ 事務局は「少数精鋭」の現体制を維持し、IT機器等は、運営内容に応じ入れ替え更新を積極的に行ってまいります。
- ④ 財政基盤の確立は最も重要な課題です。このため、国、市からの補助金の確保に努めると共に、公共事業の拡大にむけ市及び関係機関に要請してまいります。
- ⑤ センターの事業運営は、厳しい状況にありますが、経費節減を念頭に効率的かつ健全な財政運営に努めてまいります。

(8) 関係機関との連携強化

富良野市をはじめ北海道庁、その他関係機関並びに(公社)全国シルバー人材センター事業協会、(公社)北海道シルバー人材センター連合会、道内各シルバー人材センターとの連携を図り、事業の円滑な推進に努めてまいります。

(9) 中期計画の推進

中期計画策定委員会を設置し、①計画策定の目的 ②5年計画策定の目標と期間 ③基本計画の方針を、より具体的に計画を策定し、効率的に推進してまいります。

3. 事業目標

1. 会 員 数 200人(内 女性80人)
2. 受注契約金額 85,000万円